

東北日報

休無中在 刊休無中在 刊休無中在

社説

石城政友部會といふ名稱で甦生した石城地方の政友系黨人が、組織を改造して新鋭の少壯幹部を集合して陣容を刷新して来た。これと報導して来たが、各方面の基礎も稍々出来あがつたといふことが、更に一段の氣勢を副ふるに到つた。

名將義経が吉野落ちをし、たとき心腹の士を知つた。そして亦自己の存在を知ることが出来たのである。爲さんと行はれざる。ことなかりし政友の昔日の壯大さ。

獨裁と横暴とは政治的暴力として現はれるに到つても、誰かその非を鳴らさうとしたか。

金城湯池の政友會が、現今の勢力を思ふに到るならば涙なしに観られぬ實狀ではないか。

没落の過程を辿りつつあつた政友會が、山田繁慶君、山田忠太郎君二常任幹事から一躍九名の俊英を抜いて常任幹事の要の位置に据えるに到つた。新陣容は斯如して威容堂々乎として民政黨石城部會に對したのである。

本部での少壯實業家とい

てもその他の意味に於いても若い生命を有する阿部政右衛門氏、關内正一氏、遠藤俊一郎氏、記者畑から川崎文治君、蓮治龍輔君、武藤豊君を抜き之に配するに千葉彦治君あり、多士偉容を外にして内に實力の藏する所、政友部會最近の傑作秀逸であることは黨人の新らしい氣勢が擧つたことが裏書きしてゐる。

然るに從來永い間の常任幹事であつた山田繁慶氏が、何か私情のつれから新任の諸君と同居することには不快々擧げ出席せぬとか且何々と巷間噂さをしてゐるが、山田君の名の爲めに惜しいものである。

政友會の黨人としては當然双手を擧げて歓迎すべき筈の新鋭なる常任幹事諸君に對して不快を抱く理由が何處にあらうぞ、吾人の知る山田君は、は狹量の人ではないのである。

新しい一歩を踏んで戦場へ、尤も重大なる戦場に向ふべき門出に山田氏の如き黨人が、私情の儘に黨の存在を忘れることは絶対にあり得べきことではないであらう。

然らざるを信する共に大義のために自己を没する黨人氣質の古い型を慕ふものであり、黨人の操節を持せんことを熟慮するものである。

總選舉の期日は

二月十六日の日曜日か

國民投票の實を擧ぐべく 政府の方針大體決す

政府では第五十七議會解散方針を堅く決し休會明けと同時に進行する、國務大臣の施政方針演説直後即ち二十一日に断行するか施政方針に對する二三の質問を許しその時間の關係上質問を二十二日まで續行せしめて二十二日に断行するかの點にかゝり何れにしても解散は一月二十一、二日の兩日中に行はれることは今日の情勢より推して間違ひないものと見られる。而して政府は解散と同時に内院に内務省議を開き来るべき總選舉期日を内定する筈で假に二十一日に解散されるならば二月十九日が總選舉期日となり二十二日に解散になれば二月二十日が總選舉期日となる。然し安達内相は國民投票の實を擧ぐするため投票日はなるべく日曜祭日を選定する方針であるから右總選舉期日祭日に最も近い日曜祭日を選ぶこととなり従つて結局二月十六日第三日曜が總選舉日になる譯である。

過般の縣會で

よく戦つた

郵選出政友三縣議の 慰安會を十三日開催

石城郡政友部會では過般の口樓に於て慰安會を開催す縣會に於て絶對多數を擁する事となつたが新進氣鋭の幹部を多數迎へて甦生の途をたづむるに努めた。

民政黨を向ふに廻しに於て石城政友の前途を大いに奮戦苦闘した鈴木辰二郎、古川傳一、山崎吉平の三縣議に對するをねぎらふため來る十二日平町谷

列車と自動車

側面衝突をなし

助手は即死乗客一名 重傷：昨夜双葉郡下で

上野驛發富岡驛止り平驛午後九時半發旅客三三三列車が昨八日午後十時三十分頃双葉郡上岡村字諸岡地内踏切りに差しかつたセツ那富岡町鈴木自動車部所有乗合自動車運轉手榎田文治(二〇)が疾走して來たつ側面衝突をなし助手西山登(一七)は即死し乗客の双葉郡上岡村大字上手岡精米業遠藤久吉(三四)はヒン死の重傷を負つたが富岡署で取調中(富岡電)

生活苦から

このザン劇

スヤ／＼眠る男の子を 竹ヤブの中に捨てる

河沼郡上野尻村字下野尻生 日午後八時頃常磐線平驛前町入口業徳藏の養子植田定(三三)は連日連夜にわたれ長谷川藏喜代(二九)は八を徘徊中舉動不審として平吉(三七)は連日連夜にわた

署員に檢査され取調をうけたるが同人は六日午後十時頃茨城縣水戸市を約一モに包んだ儘捨て、來た旨里半離れた村(不詳)の竹ヤブの中に

昨年秋東京淺草區竹町地居るが事實とすればこの寒氣下鐵上二組高橋方に雇はのため凍え死んでゐるものれ中同せいでゐた妻のを見られて居る

愛馬が家人の 急を告げる

盛んにいな、いいて 午年に因む美しい話

石城郡入遠野村字入遠野折り山崎司法主任が嚴重取調笠籠美妻あき(二一)が去る二日夕刻産褥にあつたところ馬小屋で

愛馬が 突然奇異な啼き聲を續けるるので不審に思ひ起きて調べた處で中風にかつてゐた姑のい、七三が馬小屋の傍らの風呂場で焚きつけ中着物に点火し火傷を負ひ苦悶してゐるのを發見驚いて手當を加へたがその甲斐なく五日朝死したのが愛馬が

家人の 變事に際しいな、いいて急をつけたなどは午年に因んだ美しい話である村人の噂ののぼつてゐる

植田の 殺人事件は

出タラ目と判明 従妹殺したと稱して姫路署へ自首した

石城郡神谷村農事試験分場では十四日午前九時から同場内に果樹栽培の傳習會を開催するが講師は稲田分場長外數氏である

正月に付き物 面白い餅の傳説

なかく効能もある

神代から餅は縁起の良いものとされてゐたやうで今でもお祝ひなどの返禮に赤飯を配つたり祭禮に餅をつく風習があります。桃の節句につき物の草餅についても文徳實錄によれば嘉祥二年三月三日婦女母子草を探り蒸しつき餅となし傳へて歳事とする由が記されてあります。

餅は非常に消化のよいもので、人工消化試験の結果二時間に同分量の米飯と餅との消化率を比較すると米飯は百分中二六・九九二パーセントであるに對し餅は三三・三八五パーセント消化することから判明しました。たゞ餅は質がチ密になつてゐるために形が小さくそのためについたゞ過ぎるので悪いのです。そこで餅をたべる時には副食物として大根汁がカブ汁あるのは大根おろしをおたべなさい、これらのものにはヂアスターゼをふくんでゐるのでよく餅を消化するからです。

食養學上からいへば餅は滋養分にとみ身体をあたためるの彈力を強くし汗を止める効があるといはれますが老人や冷ひ性

の人などは餅をたべて寝れば身体があたりまゝりすから夜中にひん／＼と小便に起きることがあります。また寝小便をする子供に寝る前にモチをたべさせると寝小便をしないといふのも同じ理屈です。感冒にかゝりやすい人や虚弱な人は毎朝味噌汁の中へモチを入れたべるとよいといふので昔からモチをたべると息が切れず体力を増すとつて、昔の道中筋では力モチなどといつて旅人にモチを賣つたもので、殊に山の時にはきつとモチを賣つてゐたのです。今日でも運動選手等はよくこれを用ひますが一般労働する人は常にモチをたべるとよいのです。なほモチの藥効としてはゲリした時に水モチを煮てたべるとゲリが止まるといはれカク亂のあとでなほ吐き氣の止まらない時にモチ米を粉にして水で服用するとよく漆かぶれの時にはモチ米をもみくだめてつけます。またナマコをたべて腹痛する場合にモチをたべると直ぐなほるといはれます。(終)

職工募集

一、家具指物職人 五名
但シ相當經驗ヲ有シ永動出來得ル者詳細面談ス

丸はん家具店
電話三五九番

丸はん家具製作所
電話七二三番

サロンのバーには

何時も生ビールがあります
毎日變つた佛蘭西料理の御献立をして御座います
ドーゾ御試食を……

田町松月隣り

生徒募集

自動車界今後の大發展に順應せんが爲め、本校は……
生徒募集(申込次第進呈)

毎月一日新學期開始

一、速成科 二ヶ月卒業 三十分
一、受驗科 一ヶ月卒業 三十分
一、受驗科 一ヶ月卒業 三十分
一、受驗科 一ヶ月卒業 三十分

世界一の藥人王
責任無効返金



此の有名な美神丸を、夫婦仲のよくなる美神丸を數ヶ年に亘る悪性の子宮病に悩む人を研究……

一月九日寫眞替り

日活昭和四年度大作中の大作
原作……中村武羅夫
▲朝日新聞連載▼
悲劇 愛を白きバラ
主演……澤蘭子 夏川静江 澤口富士子 島耕二 南部章三 山本嘉一 其他

徳川天一坊

▲松竹作 阪本壽之助 主演
千早晶子 關 操 嵐豊之助
日活時代派四年度大傑作
作原村田新八 監督 稻垣浩 撮影 池戸豊 片岡千恵藏……主演

殺した人

助演……瀨川銀潮 瀨川路三郎 吉野朝子 衣笠淳子 其他オールスター
一種變つた剣法をわきまいた多感多血の士兵十郎 常い強味と自信を持つて居るが……自信を失ひ 恐怖患者となり次から次へと罪を重ねて行つた……

現代醫藥界の驚異
飲まずに治るコリソ浸透療法
肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神經痛治療藥
外用 コリソ

特約店 大平屋藥舖
電話六四二番

高久病院

内科、小兒科 醫學士 高久 忠
外科、花柳病科 醫學士 赤羽 清
耳鼻咽喉科 藥劑士 佐竹 菊雄
レントゲン科

冬服學の冬
是非冬服を信じて……
各學校制定ボタン十五錢高
中學外套も十月中旬より賣出します

あかや洋服店
電話二〇五番